



## 第9回和水町消防操法大会

4月25日田、和水町スカイドーム2000駐車場で、第9回和水町消防操法大会を開催しました。7分団、8チームが参加し、各分団から選抜された団員が出場し、訓練した操法技術を競い合いました。

競技では、規律や安全確認、放水までの動作の正確性などが審査され、各団員が息の合った動きを見せました。会場には緊張感と熱気が漂い、団員たちは限られた時間の中で、地域防災を支える消防団員としての高い技術を披露しました。

厳正な審査の結果、7分団が2大会連続で優勝を果たしました。優勝した7分団は、8月2日回に開催される玉名郡操法大会への出場権を獲得し、県大会進出を目指して訓練に励まれます。

消防団は今後も地域の安心・安全を守るため、訓練を重ね、地域の防災力向上に努めていきます。

- 優勝 第7分団 (旧春富小校区)  
準優勝 第5分団 (旧緑小校区)  
3位 第1分団B (旧中央小校区)

### 最優秀選手賞

- 指揮者の部 蒲池 直史 (第7分団)  
1番員の部 田嶋 麻皇 (第7分団)  
2番員の部 有働 雄大 (第7分団)  
3番員の部 釘崎 隆充 (第3分団)



## 三加和小・中学校合同の防災訓練・ぼうさい授業がありました

4月22日(金)、三加和小・中学校合同で開催されました。

地震の発生を想定して、児童・生徒たちは、机の下で身を守る、避難するなどの行動を実際に行いました。また、地域防災啓発活動に取り組んでいる東京海上日動火災保険(株)熊本支店からのお話を聞き、地震や豪雨などの自然災害発生時に、どのような行動をとるべきか、日頃から備えておくべき防災グッズなどについて学びました。



▲児童・生徒たちが防災を身近な問題として考える機会となりました

### 和水町は自主防災組織の取り組みを応援します！

自主防災組織とは、「自分たちの地域は自分たちで守る」ことを目的に結成される「共助」の組織です。

和水町では、自主防災組織が行う訓練や講習会等の費用に対し1/2補助(上限25,000円)を行うなど、その取り組みを応援しています。

活動等でお悩みがあれば、総務課消防交通係 ☎0968・86・5720までご相談ください。



和水町公式LINE



和水町公式Instagram



和水町公式X (Twitter)



和水町公式Threads

イベントの開催時には、町の広報紙やホームページ、公式SNSなどへの掲載のため、撮影や取材を行うことがあります。

## 早生樹「センダン」の木を植えました

熊本県では、成長が早く、家具材としても利用されている落葉広葉樹「センダン」の植栽を推進しています。今回、地権者の方の協力を得て、中和仁区にある果樹園の一部を伐採し、センダンを植えました。実証実験として、センダンの成長促進、また地域で発生する家畜由来の堆肥を有効に活用する循環型林業を実現するために、牛糞、豚糞、鶏糞の3種類の堆肥を使って成長比較を行っています。センダンの材は、福岡県大川市の家具メーカーからも注目されており、現在、スギの3倍ほどの価格で取引されています。ご興味のある方は玉名地域振興局林務課（☎0968・74・2138）までお問い合わせください。



▲センダンを植樹している様子

## 金栗四三の生家にベンチを設置しました

金栗四三氏の銅像原型モデルの製作に携わっていた緒方信行様からの寄附金によりベンチを設置しました。

生家にお越しの際には、ぜひお立ち寄りください。



▲「なごみん」をかたどったベンチ

## 町内の小中学校で運動会が開催されました

5月中旬から下旬にかけて、町内の小中学校で運動会が開催されました。

鯉のぼりリレーや、綱引き、長縄跳び、団対抗リレーなど、子どもたち1人1人が一生懸命で、輝く姿が見られました。



▲菊水中学校 応援団演舞



▲三加和中学校 綱引き

## ご寄附をいただきました

3月9日(月)、和水町の黒船倶楽部の代表を務められた故・太田昭男様の妻、恵智子様から公民館の図書充実に役立ててほしいと町へ20万円の寄付金をいただきました。

いただいた寄付金は、利用者の皆さまの学びや読書活動の充実につながる図書の購入に活用させていただきます。誠にありがとうございました。



▲三加和公民館図書室の様子